

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 02 住民自治につながる総合計画の確実な推進

施 策 : 02 市民満足につながる行政改革の推進

施策担当職・氏名	企画政策課 総括主査 杉村 英久
-----------------	------------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	<p>市の行政サービスとして行われる各事務事業の目的に総合計画の視点（めざすまちの姿、幸福を判断する3大要素、前期基本計画におけるキーワード（夢、絆、生きがい、健康、未来））を加えるとともに、事務改善に不断に取り組み、幸福を育む地域環境に向けた市民の取組を支援するため、仕事の質や仕組みの改善に着目した行政改革の展開を図ります。</p> <p>また、庁内の事務事業の展開の仕組みについて、内部評価の実施により、庁内で共有すべき優良事例（市民に幸福感を与える取組、効率化などに資する事務改善等）を把握し職員へ周知するとともに、褒める文化の醸成を図ります。</p>
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合 単位 %	35.8	40	42	43	45	46	-	
			36	36.4	0	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	-	
			57.6	64.5	0	-	-	0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成28年度	平成29年度 (見込)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	4年後
1	3799 行政改革推進事業 被評価課数 単位 課	目標値	10	10	10	10	10	10	0
		実績	15	11	-	-	-	-	-
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 06 総合計画の認知度を高め行財政基盤の確立を目指します

基本施策 : 02 住民自治につながる総合計画の確実な推進

施 策 : 02 市民満足につながる行政改革の推進

施策担当職・氏名 企画政策課 総括主査 杉村 英久

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

平成29年度の「滝沢市の行政サービスは良いと感じている人の割合」37%については、昨年度と比較してほぼ同じ数字となっています（平成28年度36.4%）。全国的には雇用の改善や所得の向上が伝えられていますが、未だ地方では実感できにくい状況の中、国の施策の動向や地方自治体を取り巻く厳しい環境など、外部要因からの影響を強く受けている部分もあるのではないかと考えられます。そのため、これまでも実施してきた市としての行政サービスの改善、効率化の取組を継続しつつ、市民満足につながる行政としての取組を積極的に取り上げ、周知する方法をさらに検討する必要があります。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

全国的な少子高齢化の進展は、国として社会保障費の増加を促すこととなり、その対応として各種高齢者対策や少子化対策が国においても進められていますが、有効な手だてを打てないのが現状です。本市においても、生産年齢人口の減少や、今後予想される高齢者の大幅な増加は、民生費における扶助費のさらなる増加を意味するものであり、看過できない状況にあります。このことから、市として新たな行政サービスを提供できる余裕がない中で、市民満足を高める必要があることから、従来からの行政サービスの効率化に加え、課題解決に向けて、市民はもちろんのこと、関係団体や民間事業者とも連携しながら、共に考え、行動することにより、市民満足につなげる必要があります。

(3) 基本施策との関連性

「住民自治につながる総合計画の確実な推進」という基本施策に対しては、市民満足を制度のみならず、市の行政サービスや職員一人一人ひとりの姿勢や対応でフォローする必要があります。市民により近い、共感を呼び込む行政サービスの展開により、基本施策の実現を図ろうとするものです。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

前期基本計画の計画期間と同一の計画期間とする「滝沢市改善活動アクションプラン」の推進状況の「見える化」を図り、積極的な市民への周知を行います。また、「見える化」については、従来の改善活動（事務事業の改善活動）のみならず、「地域」と「行政」とが互いに話し合い、総合計画が掲げるセーフティネットの維持を市民と共に考える機会を必ず設けることを各政策展開において働きかけ、市民に信頼される行政の推進を進めます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

平成27年度から取組を始めた「滝沢市改善活動アクションプラン」のさらなる推進・展開を図るとともに、引き続き取組内容について市民にお知らせしていきます。併せて、同プランが平成30年度で終了することに伴い、後期基本計画の策定とあわせて、新たな改善活動、行政改革に向けた取組を検討します。

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

前期基本計画の4年間を振りかえるとともに、これまでの取組の課題と成果を分析し、内外の環境や市民の意識の変化なども踏まえながら、市民の幸福感を判断する3大要素である「人とのつながり」「健康」「所得・収入」とセーフティネットの堅持に向けた取組を積極的に推進します。

